



中央区環境情報誌



中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

環境作品コンクール 入賞者のおしらせ

中央区では、環境について関心を深め、自然の尊さや環境を守ることの大切さを知っていただくため、区内の小・中学校の児童・生徒を対象に環境に関する標語とポスターを募集しました。

千七百四十二点の応募作品の中から、審査の結果、次の方が最優秀・優秀作品として入賞しました。おめでとうございます。

なお、これらの作品は区のおしらせ(十一月十一日号)で一部発表し、他、区内施設での展示、環境力レ

ンダーの作成、清掃車の装飾にも活用していきます。また、来年度の環境月間ポスターにも活用する予定です。

■展示期間
区役所一階ロビー
十一月十四日(月)～十一月二十二日(月)
リサイクルハウスかぎくろ(十一月二十九日(月)～十一月三十日(火))
リサイクルハウスかぎくろ(十一月二十九日(月)～十二月七日(火))

入選者(敬称略)

【標語部門】
最優秀作品(二名)
泰明小三年生 齊藤 崇
晴海中一年生 赤木 優香
優秀作品(五名)
泰明小二年生 永井 明瞳美
日本橋小六年生 小田 安珠
有馬小五年生 小熊 可菜海
阪本小一年生 上田 莉子
佃中一年生 水野 菜梨

【ポスター部門】
最優秀作品(二名)
月島第一小四年生 菅原 洗希
日本橋中二年生 西松 悠穂
優秀作品(八名)
泰明小四年生 鈴木 花実
阪本小五年生 長井 茅月
佃島小一年生 池島 大雅
月島第一小一年生 河田 桃花
月島第二小五年生 鈴木 涼
月島第一小五年生 飯田 麻衣
豊海小五年生 飯田 麻衣
佃中二年生 八代 麻悠子

この他、佳作として標語部門で小学生二十三名、中学生十名、ポスター部門で小学生四十一名、中学生九名が入選しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

今後、中央区が実施する環境への取り組みにご理解ご協力をお願いいたします。

●問合せ先
環境保全課計画推進係
☎03(3546)5406

- ★標語部門 最優秀作品(2名)
「リユースで ぼくもりっぱな 发明家」 泰明小3年生 齊藤 崇
「守ろうよ あなたが生きる あなたの未来」 晴海中1年生 赤木 優香
- 優秀作品(5名)
「木をうえて ふやそうさんと みんなのえがお」 泰明小2年生 永井 明瞳美
「資源有限 エコ無限」 日本橋小6年生 小田 安珠
「エコ問題 みんなの宿題 大きな課題」 有馬小5年生 小熊 可菜海
「わたしにも できたよごみの なかまわけ」 阪本小1年生 上田 莉子
「小さなEco みんながやれば 大きなEco」 佃中1年生 水野 菜梨



豊海小5年生 飯田 麻衣



最優秀作品 月島第一小4年生 菅原 洗希



最優秀作品 日本橋中2年生 西松 悠穂



佃島小5年生 河田 桃花



佃中2年生 八代 麻悠子



阪本小5年生 長井 茅月



月島第二小5年生 鈴木 涼



泰明小4年生 鈴木 花実



月島第一小1年生 江頭 誠



佃島小1年生 池島 大雅



都会で聴くことのできない自然の声を聴いてきました

中央区京橋に事務所を置く明誠グループは、「人を大切に、良き地球市民として行動する」という理念のもと社会貢献活動を積極的に取り組んでいます。

このたびは、社会貢献活動の一環として中央区の支援のもと「中央区の森」森林保全活動ボランティアに参加しました。

当日は気温が高く、まだまだ秋は遠いと感じられる日差しの中、NPO法人「里山再生塾」の方々の指導のもとスタッフ二十八名が参加して森林保全活動を行いました。

午前中に行った下草刈り作業では、油断していると山の傾斜に足を取られ、滑り落ちてしまうのではないかと、思うような場所ではなかったが、私たちは足を踏ん張りながら自分の背よりも高い雑草と格闘しました。難しかったのは、植林された苗木や自然に生えているウドを雑草と一緒に刈ってしまうと、みんな汗だくになりながらの作業になりました。

午後には間伐されていなかったために太陽の光が降り注がない杉や檜が生い茂る山での作業でした。体感的には、ひんやりして気持ちよかったです。森林内は太陽の光が届かないため林床の植物が育つておらず、茶色が多い世界でした。森林内に光を入れる間伐作業を通して、林床に植物が育つ豊かな生態系を形成するということの必要性が実感できました。また、間伐作業で切り倒した木を四メートルの長さで分割し、ふもとまで運び出す作業も行いました。これは、大変な力仕事でしたが、檜を切った時の香りが記憶に残る貴重な体験になりました。

森林保全活動ボランティアを終え、森林は地球温暖化の原因になる二酸化炭素(CO2)を吸収してくれる大切な役割を担っていることと理解して、いたつもりでしたが、実際に森林の中に入り、深呼吸をして森林の持つ雰囲気を感じることが、より理解できたように思います。

とても疲れる大変な体験でしたが、普段自然と接する機会や体を思いきり動かすことが少ないため、今回の経験は、スタッフ全員にとって最高の機会になりました。

また、実際に間伐作業を行ったことで地球温暖化等の自然環境の在り方を考え直すことのできた貴重な体験になりました。

区では「中央区の森体験ツアー」を年一回実施しています。そのほか、区内事業者の方々による中央区の森での活動についても、檜原村で森林保全活動を実施しているNPO法人「里山再生塾」とのコーディネートを行っています。是非ご利用ください。

●問合せ先
環境保全課計画推進係
☎03(3546)5406

区内事業者による中央区の森での活動

認証事業所・第3号

中央区版二酸化炭素排出抑制システム

株式会社文栄社

「お金をかけず、できることからコツコツと意識さえ変われば省エネは実現できます」

エアコンの故障が大きな転機

「環境に良いことをしたいという気持ちはみんな持っていますから、ちよつと背中を押してあげれば意識は変わります。」そう語るのは、株式会社文栄社の工務部長・中崎賢さん。同社は、各種出版物の制作をはじめインターネットサービスなど、印刷を中心に情報関連業務を行う創業六十年以上を数える印刷会社。



ポスターコンクールのおすすめ作品。



「これまで以上に努力が必要ですが省エネは拡大・継続します」と語る中崎さん。



スイッチのそばにポスターを貼るのも効果的。

「五年ほど前から長年使っていたガス式エアコンの故障が多くなり、冷房が効かなくなりサーバまでダメになったこともありました。これはエアコンを替えなければいけないときに、このシステムを見つけて、この認証が取ればエアコンの助成金ももらえる、ではこれに参加しようかなと思っただけで動かしだしたんです。」

中央区版二酸化炭素排出抑制システムの取組を始めて、中崎さんの環境に対する意識も変わったそうです。「私自身環境問題に全然目がいってなかったのですが、意識するようになるといういろいろな情報が自然と耳に入ってくるようになりました。これがデカイですね。」



会議室など光量を落とせるところから蛍光灯を省エネしていきます。



こまめな消灯ができるようスイッチをわかりやすく。

意識していないと、情報が一つと通り過ぎてしまいます。意識していれば、いろいろな情報を環境という目線で見られるようになります。」

「印刷会社に限らず、環境活動をしろといわれても何をやったらよいかわからないという会社はいっぱいあると思います。そんなときは、区役所に行き二酸化炭素排出抑制システムについての話を聞いてみてください。省エネや環境意識向上のアドバイスの他に、助成制度についての情報も得られます。大事ですよ。フェイス・トゥ・フェイスで話すのは。」と他の事業所へのメッセージをいただきました。

参加事業所募集中!

区では「中央区版二酸化炭素排出抑制システム」に参加される事業所を募集しています。

事業所や家庭で、地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量の削減への取り組みです。事業所は3カ月間のCO₂削減計画に基づいた活動を実施。活動状況や目標達成状況により区から認証書を交付します。

システムへの取り組みは、事業活動に伴う光熱費などの削減を図るだけでなく、省エネルギーや太陽光発電システムなどの導入経費助成制度の優遇を受けることができます。

なお、家庭での取り組みについては下記までお問い合わせください。

●問合せ先
環境保全課計画推進係
☎ 03 (3546) 5406

ホームページ：
<http://www.city.chuo.lg.jp/kurasi/kankyo/stopco2/bizsystem/index.html>

環境の分野でご活躍されている方々に感謝状を贈呈

日頃から地域での資源回収や美化活動にご尽力いただいている方および団体、リサイクル活動に積極的に取り組んでいる事業所に対して、12月9日(木)に感謝状を贈呈しました。

贈呈式の後には「～虫眼鏡から見る地球温暖化～」と題して、養老孟司氏による講演会を開催し、多くの方にご参加いただきました。

受賞された方および団体は以下のとおりです(敬称略)。

- リサイクル活動団体(4団体)
 - ・都営明石町アパート自治会
 - ・ハイツ日本橋中洲仲よし会・セザール月島管理組合・晴海一丁目北自治会
- 地域クリーン活動団体(3団体)
 - ・晴三れいめいクラブ
 - ・株式会社オウルコーポレーション
 - ・株式会社グローバルケア
- 地域クリーン活動ボランティア(4人)
 - ・櫻井 節子
 - ・堀 隆
 - ・高田 清勝
 - ・小森谷 二彦
- 事業用大規模建築物所有者等(2事業者)
 - ・株式会社プランタン銀座
 - ・長瀬産業株式会社

「感謝状の受賞にあたり」

株式会社オウルコーポレーション 代表取締役 富満 勝盛

私達の活動の原点は、掃除の実践を通じて、従業員一人ひとりの「学び」と「人格形成」を深めていくことにあります。私達がゴミを拾っているその脇に平気で吸殻や紙くずを捨てて行く人に遭遇したときその職員が何に気づき、何を学ぶのか、またあるとき地域の方々に励ましの言葉や感謝の言葉をかけられたその職員が何に気づき、何を学ぶのか。平凡なことですがその平凡の継続が私達の人づくりです。地域クリーン活動への感謝状を頂くにあたり町内会をはじめとする地域の皆様方のご理解とご支援に感謝とお礼を申し上げます。